

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2023年8月25日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	五洋ロジテム株式会社
所 在 地	〒6570854 神戸市灘区摩耶埠頭2-1
代表者役職・氏名	代表取締役社長 有真司
担当者連絡先	電話：0788625434 メール：tokuyama@goyo-logitem.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.goyo-logitem.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

当社は1950年に創立し、海・陸・空一体の複合一貫輸送によるロジスティクスをアジア中心にグローバルに展開している総合物流企業です。またAEO事業者としての高いセキュリティ、コンプライアンス体制を背景に、輸出入貨物の通関、ハンドリングなど迅速なサービスをご提供しています。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	LED化の推進・太陽光パネル設置・ペーパレス化等	グリーン経営認証の遵守
□環境 ✓社会 □経済	安全で働きやすい職場環境づくり	重大労働災害の発生ゼロを継続
□環境 □社会 ✓経済	事業継続計画(BCP)を策定し、災害等有事の際に対応できる体制づくり	BCPを年に1回以上見直し

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目														
			1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、研修や会議時に教育を行っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントを禁止する旨就業規則に明記している。 ・管理部を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労働基準法等の改正を経営陣を含めて共有している。 ・長時間労働是正のための労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備を行っている。								8.5 8.8							
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる				3					8							
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・相談窓口の設置 ・産業医を配置			3												
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・多様な人材が活躍できるよう、時差出勤、フレックスタイム等適切な職場への人員配置に取り組んでいる。				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職務や役職に応じた外部研修の受講者には一定額の補助を支給している。 ・個人の目標設定を作成、目標管理とフィードバックをしている			4	5.5			8	9							
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している				5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・定期健康診断の実施 ・インフルエンザワクチン接種の補助金を支給。		3					8								
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・環境方針の制定 ・ペーパーレス会議システムの導入										11.6 12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・電気・燃料使用量を把握し、CO2排出量の削減に努めている。 ・エネルギー使用料1%削減を目標としている。						7.3					13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・LED照明、停電力複合機等への切り替え ・アイドリングストップの徹底					7.2 7.3					12.4 13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9		6.3					11.6 12.4						

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
			1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17
15 16 17 18 19 20	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している									6.6							15		
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる								6.4 6.6										
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・グリーン経営認証取得			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・倉庫に太陽光発電システムを設置							7.2					13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・社内購買において、再生紙等の環境配慮商品を優先購買対象としている。											12.2	13	14	15			
21 22 23 24	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・AEO認定通関業者として輸出入関連業務及び通関業法その他関係法令を順守し、業務を適正かつ円滑に遂行し、サービスの安全性を確保している。		3.9									12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している									9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・主要業務のペーパレス化を図っている					6						12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・トラック予約システムを導入し、待機時間の削減に努めCO2削減に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25 26 27	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している				4						9		11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・短期大学生のインターン受入を行い、地域の雇用の受け皿を創出している			4								11			14	15		17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している										8	9						17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・社内掲示、会議等で法令遵守(コンプライアンス)の重要性を全社員に向けて発信している。															16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・責任者を明確にして体制を管理している。															16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)																16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・グリーン経営委員会の設置および月例のミーティングを月1回実施している。															16	
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・大規模地震に対する事業継続計画(BCP)を策定している。									9	11	13.1				16	
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9						17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。

(様式第4号)

令和 6年 8月27日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地：	神戸市灘区摩耶埠頭2-1
名 称：	五洋ロジテム株式会社
代 表 者：	代表取締役社長 有真司
登録年月日：	令和5年9月29日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	LED化の推進・太陽光パネル設置・ペーパレス化等	グリーン経営認証の遵守	・グリーン経営継続認証 ・新倉庫太陽光パネル設置
□環境 ✓社会 □経済	安全で働きやすい職場環境づくり	重大労働災害の発生ゼロを継続	・重大労働災害の発生ゼロ
□環境 □社会 ✓経済	事業継続計画(BCP)を策定し、災害等有事の際に対応できる体制づくり	BCPを年に1回以上見直し	・BCMを実施し、運営チームによる委員会開催

(様式第4号)

令和 7年 8月 27日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 神戸市灘区摩耶埠頭 2番地 1

名 称： 五洋ロジテム株式会社

代 表 者： 代表取締役社長 有 真司

登録年月日： 令和 5年 9月 29日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	LED化の推進・太陽光パネル設置・ペーパレス化等	グリーン経営認証の遵守	・グリーン経営継続認証 ・事務所照明全面LED化
□環境 ✓社会 □経済	安全で働きやすい職場環境づくり	重大労働災害の発生ゼロを継続	・重大労働災害の発生ゼロ
□環境 □社会 ✓経済	事業継続計画(BCP)を策定し、災害等有事の際に対応できる体制づくり	BCPを年に1回以上見直し	・BCMを実施し、運営チームによる委員会開催